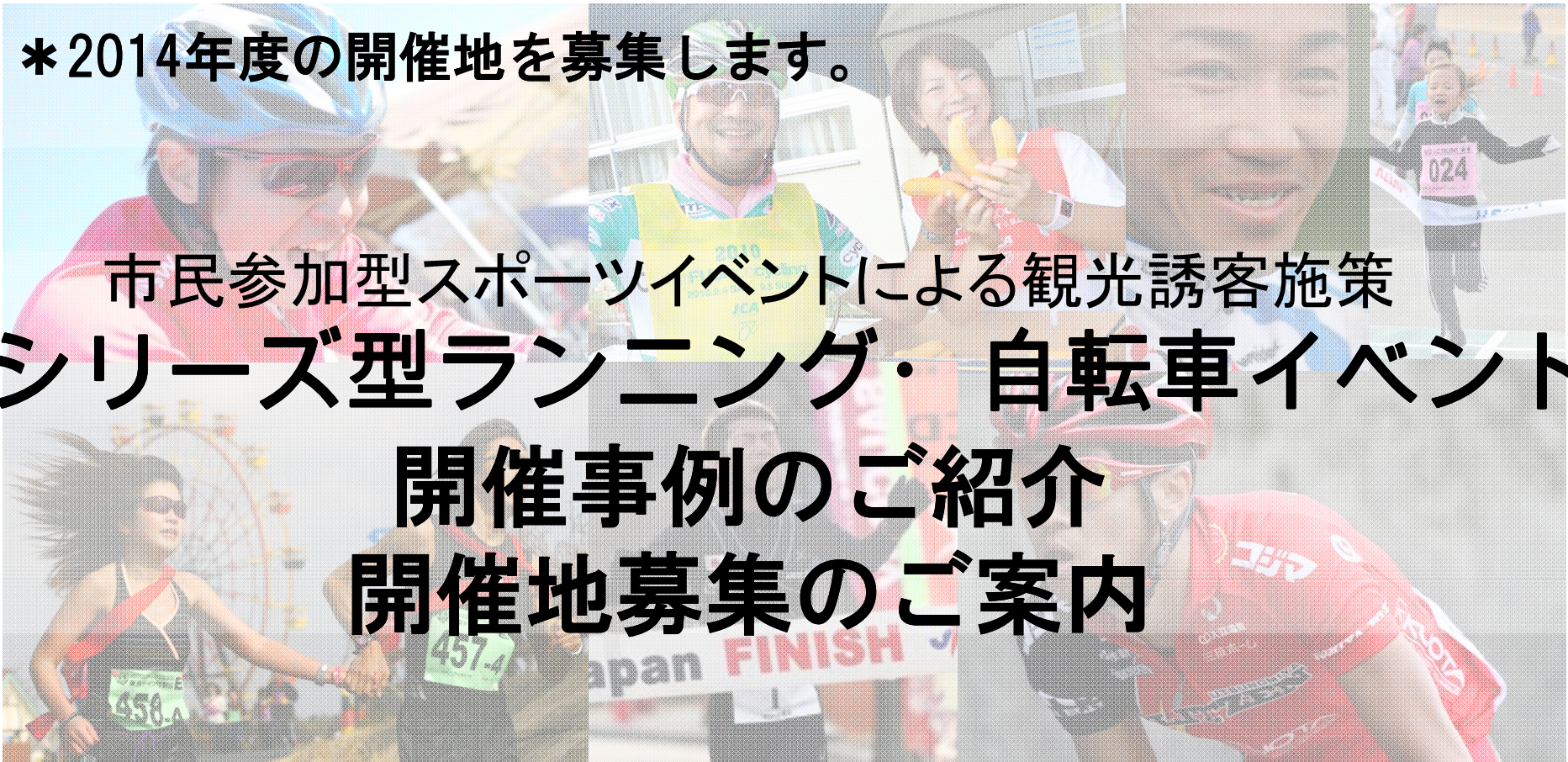


*2014年度の開催地を募集します。



市民参加型スポーツイベントによる観光誘客施策
シリーズ型ランニング・自転車イベント
開催事例のご紹介
開催地募集のご案内



<http://wizspo.jp>

2013年5月
一般社団法人ウィズスポ

東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目23-9網野ビルB1F
TEL:03-3478-5566

WizSpo!!とは <イベントコンセプト>



ウ ィ ズ ス ポ Wiz Spo!!

メインコンセプトは、

「With + Sports」→ 【スポーツと共に人生を楽しもう！！】

WizSpo!!(ウィズスポ)とは、一般社団法人ウィズスポが主催する、
「スポーツが大好き」「カラダを動かすのが大好き」という人たちのための
【シリーズ型 市民参加型スポーツイベント】のシリーズ名称です。

開催に当たっては、各地の地方自治体・市民団体等と連携し、
開催地への実際的な地域活性化をもたらす仕組みを構築していきます。

ランニング・自転車ブームの影響で、市民参加型スポーツイベントの数も益々増えていますが、
私たちは、仮にこのブームが去ってしまったとしても、
地域に根差していく、“続く”スポーツイベントを創りたいと考えています。

現在、2014年度の開催地域を募集・選定中。
あなたの街や地域でも、開催してみませんか？

特徴

- 👉 “観戦する”のではなく、自らが“参加する”形式の市民参加型スポーツイベント
- 👉 開催地へ『**実際的な地域活性化**』をもたらす仕組みを構築
- 👉 シリーズ型イベントとして、全国各地で開催 * 2013年は関東・東海・北陸が中心
- 👉 開催地の既存の観光資源を生かしたオリジナルでユニークなイベント設計

事例紹介①:石川県加賀市(自転車)

●大会名:温泉ライダーin加賀温泉郷2012片山津【石川県加賀市】

- ・「北陸屈指の温泉地」という地域資源と「自転車イベント」の組み合わせ
- ・「温泉ライダー」というユニークなネーミングがヒット
- ・初開催で600名の参加(定員超)⇒次年度は規模を拡大

■開催概要

- ・大会名:温泉ライダーin加賀温泉郷2012片山津
- ・開催日:2012年5月12日(土) 受付・イベント
5月13日(日) 3時間エンデューロ(自転車耐久レース)
- ・競技内容:自転車耐久レース(1周2.4km 3時間)
- ・主催:温泉ライダーin加賀温泉郷実行委員会
- ・共催:加賀市・加賀まれびと交流協議会・一般社団法人ウイズスポ
- ・公式HP:<http://onsen-rider.kaga.wizspo.jp/>
- ・レポート記事:<http://www.cyclowired.jp/?q=node/84006>
- ・参加人数:約600名
- ・報道実績:テレビ金沢、北國新聞、北陸中日新聞、各自転車媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・石川県加賀市の従来の地域資源である「温泉」と、昨今愛好家が急激に増えている「自転車」をかけ合わせた施策として企画。東海及び関西を主なターゲットにしつつ、来る北陸新幹線の開通をにらみ関東からも新規見込み顧客の来訪を狙った。
- ・当地の観光PRを趣旨とする市民団体「加賀市まれびと協議会」及び、当地の行政・観光産業等との連携のもと、事業を推進した。
- ・地域の観光産業と連携し、大会参加者へのホスピタリティを提供(オフィシャルホテルの設定・無料入浴券配布)。大会をきっかけとするファンを獲得し、リピーターの獲得につなげる考え。
- ・今年初開催であったが、定員を超える参加があり大盛況を博し、報道実績も多数。2013度は規模を拡大して開催決定。

*WEB(wizspo.jp)に開催事例インタビュー記事があります。合わせてご覧ください。



安田大サーカス団長も参加



温泉仮装ライダーも



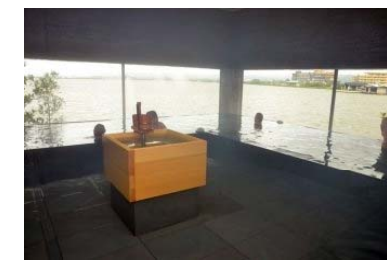
公道を規制した周回コースが魅力



優勝者へは「半纏ジョーズ」が贈られる



温泉地ならではの参加記念品



レースのあとは温泉へ「無料温泉手形」も配布された

事例紹介②:埼玉県熊谷市(自転車・RUN)

WizSpo!!

●大会名:あついぞ!熊谷 バーニングマン・レース【埼玉県熊谷市】

- ・熊谷市のシティプロモーション「あついぞ!熊谷」を逆手に取る企画演出
- ・熱中症対策などスポーツ実施時の安全対策啓発も実施
- ・BIKE(自転車)とRUN(ランニング)を同時開催

■開催概要

- ・大会名:あついぞ!熊谷 バーニングマン・レース
- ・開催日:2012年7月28日(土)
- ・競技内容:自転車耐久レース(1周2.4km 6時間)
リレーマラソン(1周2.0km 3時間)
- ・主催:一般社団法人ウイズスポ *熊谷市公認事業
- ・協力:財団法人埼玉県公園緑地協会
- ・公式HP: <http://burning-man.wizspo.jp/>
- ・レポート記事: <http://cyclejam.exblog.jp/>
- ・参加人数:約1,500名
- ・報道実績:テレビ東京、ターザン、各種自転車媒体・ランニング媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・埼玉県熊谷市がシティプロモーションの一貫として打ち出している「日本一暑い街・熊谷」、「あついぞ!熊谷」と、自転車イベント、ランニングイベントを掛けあわせて実施。「日本一“アツい”BIKE&RUN」というコピーも話題を呼んだ。
- ・水分補給の重要性や熱中症対策、スポーツ実施時の安全管理対策などを啓発するプログラムも取り入れて行った。
- ・BIKE(自転車)とRUN(ランニング)を同日に開催。異なる顧客層の取り込みを狙った。
- ・熊谷市の市民団体が町おこしで行なっているグルメキャンペーン「くま辛」と連携し、ブース出展を行った。
- ・熊谷市の市民団体が行なっている「クールシェア」活動のPRブースを設置した。
- ・今年初開催であったが1500名ほどの参加があり大盛況を博した。2013年度は規模を拡大して開催決定。

日本一“アツい”BIKE&RUN BURNING MAN RACE

「日本一“アツい”BIKE&RUN」というコピーも話題を呼んだ



自転車の耐久レース



リレーマラソン



大会オリジナルキャラクター“あつちゃん”
ネーミングはツイッターで募集した



熱中症対策ブースも万全

事例紹介③:茨城県かすみがうら市(自転車)

WizSpo!!

●大会名:レイクサイドサイクルフェスタ かすみがうらエンデューロ【茨城県かすみがうら市】

- ・「霞ヶ浦」という地域資源と「自転車イベント」の組み合わせ
- ・既存事業である「かすみがうらまるごとグルメフェス」との併催で相乗効果を発揮
- ・初開催で800名の参加⇒次年度は規模を拡大予定

■開催概要

- ・大会名:レイクサイドサイクルフェスタ かすみがうらエンデューロ
- ・開催日:2012年10月13日(土)4時間エンデューロ(自転車耐久レース)
- ・競技内容:自転車耐久レース(1周4.8km 4時間)
- ・主催:一般社団法人ウイズスポ、かすみがうら市
- ・大会に対するお問合せ:
ウイズスポ事務局(ルーツ・スポーツ・ジャパン内)
- ・公式HP: <http://kasumigaura.wizspo.jp/>
- ・レポート記事: <http://cyclist.sanspo.com/25206>
- ・参加人数:約800名
- ・報道実績:朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、フジテレビ、各自転車媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・茨城県かすみがうら市の地域資源である「霞ヶ浦」と、「自転車」を掛け合わせた施策として企画。「かすみがうら＝スポーツアクティビティ」のイメージを醸成するため、主に関東各地からの新規顧客の来訪、リピーターの獲得を狙った。
- ・既存事業である「かすみがうらまるごとグルメフェス」を併催し、霞ヶ浦周辺の複数自治体からフードブースを出展。「茨城の食」に関するトークショーも行うなど、イベント参加者へのホスピタリティを生むと同時に、当地のもう一つの観光資源である「食」のPRを促進した。
- ・今年初開催であったが、定員に迫る参加があり大盛況を博し、報道実績も多数(20媒体以上)。2013年度は規模を拡大して開催する予定。

*WEB(wizspo.jp)に開催事例インタビュー記事があります。合わせてご覧ください。



湖畔をかける爽快感抜群のコース



ママチャリ仮装ライダーも



当地にゆかりの「アントキの猪木」さんがゲスト



全日本チャンピオン・土井雪広選手もゲスト参加



近郊のご当地グルメが勢ぞろい



参加者皆さんの“笑顔”満開の表彰式

事例紹介④：静岡県静岡市（自転車）

●大会名：金山争奪ヒルクライム ツール・ド・安倍峠【静岡県静岡市】

- ・「家康と信玄が争った金山」という地域資源と「自転車イベント」の組み合わせ
- ・ウィズスポが運営に加わって、前回開催時に比較して約4倍の集客を実現

■開催概要

- ・大会名：第5回静岡市・身延町交流イベント「ツール・ド・安倍峠2012」
- ・開催日：2012年10月21日（日）
- ・競技内容：ヒルクライム（上り坂のみの自転車レース）全長17.1km
- ・主催：静岡市・身延町交流イベント実行委員会、一般社団法人ウィズスポ
- ・大会に対するお問合せ：
ウィズスポ事務局（ルーツ・スポーツ・ジャパン内）
- ・公式HP：<http://abe-touge.wizspo.jp/>
- ・レポート記事：<http://www.okushizuoka.jp/oshi/news/article/001149.html>
- ・参加人数：約400名
- ・報道実績：静岡新聞、サンケイビズ、各自転車媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・静岡県静岡市と山梨県身延町の県境にある「安倍峠」を舞台とする交流イベントとして、2012年で5回目の大会。ウィズスポとしては、当地からの要請を受けて今大会より企画運営に参画した。
- ・安倍峠の観光資源である「家康と信玄が争った金山」という設定を生かし、自転車イベントと掛けあわせて実施。「家康軍」「信玄軍」のどちらかの軍勢に別れてエントリー、勝利軍や武勇を示したもの（入賞者）には“金の褒美”を贈るというユニークな演出を行い、当地のPRを行った。
- ・ウィズスポが参画する以前の前回開催時に比較しておよそ4倍の参加者（ほぼ定員）が集まり、大盛況に博した。当地の観光PRの施策として、次年度以降も経年的に実施する予定。



“金山争奪ヒルクライム”という当地ならではの演出



全長17.1kmのヒルクライムレース



レース後は“合戦鍋”を食べてお互いの武勇をたたえ合う



勝利軍に与えられる“金の褒美”の数々



表彰式（今回は「武田軍」の圧勝に終わった）

事例紹介⑤: 栃木県さくら市(自転車)

WizSpo!!

●大会名: 温泉ライダー in SAKURA ~日本三大美肌の湯・栃木きつれがわ温泉~【栃木県さくら市】

- ・「日本三大美肌の湯」という地域資源と「自転車イベント」の組み合わせ
- ・「温泉ライダー」をシリーズ化した、第2弾イベント
- ・初開催で900名の参加⇒次年度は規模を拡大予定

■開催概要

- ・大会名: 温泉ライダー in SAKURA
~日本三大美肌の湯・栃木きつれがわ温泉~
- ・開催日: 2012年11月17日(土) 5時間/2時間エンデューロ(自転車耐久レース)
- ・競技内容: 自転車耐久レース(1周5.3km 5時間/2時間)
- ・主催: 一般社団法人ウイズスポ
- ・共催: さくら市 さくら市教育委員会
- ・後援: さくら警察署
- ・公式HP: <http://onsen-rider.sakura.wizspo.jp/>
- ・レポート記事: <http://cyclist.sanspo.com/33141>
- ・参加人数: 約900名
- ・報道実績: 地元ラジオ局、サンケイビズ、各自転車媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・栃木県さくら市の従来の地域資源である「温泉」と、昨今愛好家が急激に増えている「自転車」をかけ合わせた施策として企画。関東圏を主なターゲットにしつつ、湯出20周年記念を契機に、「美肌の湯」を前面に温泉をPR。
- ・地域の観光産業と連携し、大会参加者へのホスピタリティを提供(地元農産物のふるまい・無料入浴券配布)。大会をきっかけとするファンを獲得し、リピーターの獲得につなげる考え。
- ・今年初開催であったが、定員を超える参加があり大盛況を博し、報道実績も多数。2013年度は規模を拡大して開催する予定。



地元プロチーム宇都宮ブリツェンの栗村監督・選手もゲスト参加



公道に並ぶライダーたち



さくら市からは、おにぎりと福々鍋の振る舞いが



優勝チームにはマリア・ローザならぬ「ハッピー・ローザ」が



会場内に設けられた足湯コーナー。「美肌の湯」の源泉を体験!



レースのあとは温泉へ「温泉優待券」も配布された

事例紹介⑥:千葉県袖ヶ浦市(RUN)



●大会名:東京ドイツ村駅伝【千葉県袖ヶ浦市】

- ・「東京ドイツ村」というテーマパークの閑散期の集客施策として開催
- ・開催2回目にしておよそ3,000名の有料入場者(参加者+応援)を獲得(機会損失なし)
- ・「日本で唯一のドイツをテーマにしたランニングイベント」として参加者に好評

■開催概要

- ・大会名:東京ドイツ村駅伝
- ・開催日:2012年1月28日(土)
- ・競技内容:1区間5km×4区間の駅伝(4人1組)
- ・主催:一般社団法人ウイズスポ
- ・後援:袖ヶ浦市、袖ヶ浦市観光協会、日独協会
- ・公式HP: <http://doitsu-ekiden.wizspo.jp/>
- ・レポート記事: <http://doitsu-ekiden.wizspo.jp/fp/?n=1266>
- ・参加人数:約2,200名(総入場者は約3,000名)
- ・報道実績:チバテレビ、日本経済新聞、朝日新聞、各ランニング媒体 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・千葉県袖ヶ浦市にあるテーマパーク「東京ドイツ村」の集客施策の一環として2011年に初開催。2回目の開催となる2012年は、参加者数2,200名、応援も含めた総有料入場者は3,000名となった。既存の入場客の制限は設けていないため機会損失は生じておらず、施設としては純粋な入場者増となっている。
- ・施設の持つテーマ性を存分に生かし「日本で唯一のドイツをテーマにしたランニングイベント」として企画演出。参加者からも大変好評で、リピーター率の多いイベントとなっている。
- ・当大会を通じて「東京ドイツ村」という施設を知ったという回答も多く見られ、来訪機会の創出と共に、知名度アップのための広報PR活動としても機能している。
- ・第3回大会は2013年1月26日(土)開催。



日本で唯一の“ドイツをテーマにしたランニングイベント”



舞台は“ドイツ”がテーマのテーマパーク



“ドイツ仮装”で走るチームも



ドイツ関連企業などのブース出展



駅伝後のBBQ交流会も大盛況

事例紹介⑦: 富山県高岡市(RUN)

●大会名: 第1回高岡ねがいみち駅伝【富山県高岡市】

- ・地域の若手経営者で構成するグループとの共同開催
- ・当地で最近取り組みはじめたばかりの観光資源「願い道」のプロモーションとして機能
- ・来る北陸新幹線の開通をにらんだ施策として実施

■開催概要

- ・大会名: 第1回高岡ねがいみち駅伝
- ・開催日: 2013年4月21日(日)
- ・競技内容: 8区間の駅伝(3~6人1組)、個人ラン、親子ラン、キッズラン
- ・主催: 高岡ねがいみち駅伝実行委員会
- ・共催: 高岡市、元気たかおか未来会議、一般社団法人ウイズスポ ほか
- ・公式HP: <http://takaoka-ekiden.wizspo.jp/>
- ・参加人数: 1,800名
- ・報道実績: 北日本新聞、北日本放送、富山テレビ、チューリップテレビ、FM富山 etc

■趣旨・特記事項・観光施策との連携等

- ・当地の若手経営者からなる「元気たかおか未来会議」との共催事業として、2013年4月に初開催。
- ・北陸では珍しい「市街地封鎖型」のイベントとし、中心市街地の活性化につなげることを目指す。
- ・北陸新幹線が平成25年度に開業することをにらみ、関東圏からの観光人口流入および、出身者のUターンを促す施策として実施。
 - ・「企業対抗の部」を設け地元の企業単位の参加を促したり、「同窓生対抗」の部を設け旧友同士の参加およびUターン参加を促すなど、「ランニング愛好家」以外の層の取り込みも行なっている。
- ・当地で最近新しい観光資源として取り組み中の「願い道」をイベントテーマにすえ、コースに設定することで、既存施策との相乗効果をはかっている。(* 1)

(* 1)「願い道」とは、高岡市街地に点在するパワースポットをつなぐルートのこと。観光客に対して、歩くことで願いが叶うことをPRにし、観光資源としている。当大会ではこのルートをランニングコースとしている。



「願い道」にかけ、「走る人には、福きたる。」をキャッチコピーとし、PRを行った。



「にぎわい創出」を狙い市内の繁華街もコースとした。



射水神社の大鳥居がスタート・ゴールアーチ。1800名が参加した。

◆アンケートによる、イベント参加者の声を一部抜粋してご紹介します。

●かすみがうらエンデューロ(茨城県かすみがうら市)

- ・霞ヶ浦には初めて来ましたが、大好きになりました。また来ます！
- ・素晴らしいロケーションなので、レースとして本格的なカテゴリがあると日本での自転車イベントを代表する名物になる可能性があると思います。
- ・大会当日は道路も綺麗にしてあったりとスタッフの心意気が気持ちよかったです。
- ・危険と思われたコースも運営のフォローがしっかりなされていて、怖い思いもしなかった。
- ・公道を封鎖してのレースがプロではなく自分たちのようなアマチュアが堂々と走れたことが非常に楽しい思い出になりました。
- ・事前に試走に行ったときには、道が荒れてることとコーナーが厳しいことが気になりましたが、スタッフの皆さんが声を囁らして注意を促してくれたこと、極力整備してくれたおかげで初心者の方も安心して走れたと思います。
- ・ボランティアスタッフも危険箇所すべてに配置されており、安心して走ることができました。
- ・直線からの眺めは最高でした。
- ・運営事務局のきめ細かい配慮と、地元の方々のご協力・声援が非常に温かく、そして盛り上げて頂きました。
- ・地元の方々の熱気もあり地域一体型のレースという感じがし、とてもよかったです。
- ・普段会えない友達とレースを通じて、いっしょに参加することができて、皆、いい思い出ができました。来年も参加したいとメンバー全員言っています。
- ・競技をはじめて間もないですが、一番楽しい大会でした。
- ・大会の成功を願う主催者様の意気込みと綿密な計画性を感じるイベントで大変楽しめました。
- ・ほぼ同じ内容で来年は1000名を越えると思います。とても熱狂的で熱くなれました。
- ・フードフェスタが同時開催していたおかげで一般の来場者も増え、レースに活気が出てとてもよかったです。
- ・以前参加した大会よりも、会場のブースなどが充実していたので(特に食べ物)、レースの出場しない家族も楽しめました。
- ・今回、家族の応援で参加しました。走らない私たちも楽しめるイベントやトークショーが充実していてよかったです。
- ・グルメブースもなかなか買えないかと思ったら、店数が多かったこともあり、すぐを買えたのでいろいろ楽しめました。これなら来年は妻子を連れて参加したいと思います。
- ・思った以上に景色も良く、出店の食事が美味しかったです!!次回は家族を連れて観光に行きたいと思えます。
- ・地元の友達も応援に来てくれ、とっても楽しく走る事ができました!

●ツールド・安倍峠(静岡県静岡市)

- ・ツールド安倍峠に参加して初めて奥靜に行きました。とても良いところですね。この大会が無ければ行かなかったです。今度は家族で紅葉を観に行きます。他の大会にはない演出、地元が盛り上げようとするところが良かったです。
- ・沿道での声援がこんなにあったイベントは初めてだったので嬉しくなりました。ぜひこの雰囲気大事にして続けていって下さい。
- ・景色も良いし、沿道のおじいちゃん、おばあちゃん達が応援してくれるし、良き田舎の風景を楽しめました。今後も是非続けていってほしいです。
- ・大会関係者の方が開会式で、「最終的にはこの先にトンネルをつくりたい」などと言って、この大会の開催などを通じて地元の過疎化を何とかしたいという思いがストレートに伝わってきました。こういう思いは、今回のようにストレートに話して、参加に伝えるのが一番だと思います。非常に工夫されていて、他にはない楽しさがありました。また参加したいと思っています。
- ・今回、初めて参加させてもらいました。なによりスタッフが素晴らしかったです。あと沿道での地元のみなさんの応援が嬉しかったです。レースに関してはできれば中学生のカテゴリーをお願いしたいです。このコースなら十分走れると思います。親子で出たい大会でした。
- ・スタッフがとても手厚く、完成度の高い大会に仕上がっていると思います。新東名からのアクセスも良く、駐車場等も確保できる事から、今回のコース設定で引き続き大会が実施されることをのぞみます。
- ・地元のもてなしは最高でした。これが地域振興イベントを兼ねた大会の最大の楽しみです。普段は表彰式までいませんが、会場に残る楽しみがあってとても良いイベントです。MCも盛り上げてくれて良い。ゲストも明るくてノリが良い。
- ・運営がちゃんとしていて他の大会よりスムーズ
- ・運営もスムーズでよかったです。地元の方の応援も嬉しかったです。温泉に前泊して家族旅行を兼ねたのですが、レース含めてとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・スタッフの方の対応が非常に良かったので、とても気持ちの良い大会でした。ありがとうございました。
- ・交通規制前と交通規制解除後の難しい誘導対応が素晴らしかったと思います。スタッフの数も多く、地元をあげて取り組んでいるのが伝わりとても好印象でした。
- ・運営していただいた方々のきめ細やかな素晴らしい対応は非常に良かったと思います。スタート地点が、受付の所からだより楽しめた気はしますが、今回の距離でも不満はありません。東京からのアクセスが若干距離がありましたが、参加してよかったと満足しております。
- ・初参加でしたが、大変楽しいイベントでした。今回、泊まった旅館の温泉(泉質)も最高で驚きました!また次回出場できるようにあれば参加したいと思います。
- ・レース中地元の方の応援が嬉しかったです。イベントを盛り上げる気持ちが伝わってきました。下山時の誘導は他のイベントより指導が良く安全に下山することが出来ました。スタッフ皆さんの努力だと思います。合戦鍋、おにぎり、暖かいお茶美味しかったです。今回は一人で初めて参加させて頂きましたが、楽しいヒルクライムが出来ました。来年は仲間と一緒に温泉に入りのんびり参加できると嬉しいです。
- ・運営の円滑さスタッフの対応などは今までで一番の大会でした。正直自転車のイベントの運営はグダグダだと思っていたので、今回の大会の運営は素晴らしいと思いました。
- ・とにかく地元の方の声援に感動しました。自転車イベント初参加でしたが、ほかのイベントにも参加したくなるような大会でした。また、スタッフの方の的確な誘導と安全面に対する配慮が素晴らしいと感じました。ありがとうございました。
- ・ツールド安倍峠のオリジナルステッカーが欲しい。自転車やヘルメットに貼って、今後大会をPRしたり、参加者同士が共感したりしたい。とにかく、誇らしく思える地元の大会です!

自転車やランニングなど、一般道や公園の園路等を使ったスポーツイベントを開催します。
開催内容は、開催地のご要望や条件等に応じて調整可能です。

自転車

◆例) 一般道や公園を利用した自転車エンデューロ(耐久イベント)



■特徴① 高い希少性

一般道や公園を占有利用した自転車イベントはそれ自体が希少価値を持っています。開催できれば、それだけでバリューの高いイベントになり、多くの集客/PRを見込むことができます。

■特徴② 誰でも参加できる敷居の低さ

自転車愛好家の他、地元の方もママチャリで参加できる耐久レース(エンデューロ)は、敷居の低い自転車イベントです。決められた時間で周回数を競うため、途中で休憩するなど自分のペースで走行できます。仮装して参加する方もおり、「ワイワイガヤガヤ」楽しみながら参加するエンジョイイベントです。

■開催条件

- ・2km~4km程度の周回コースが占有できること。
- ・幅員が5m以上とれること。
- ・参加者が溜まれるイベント会場(広場等)があること。
- ・参加人数に対して6~7割の駐車台数が確保できること(1000人規模の場合700台分)。

* 開催条件はおおよその目安です。詳しくはお問合せ下さい。

ランニング

◆例) 駅伝(施設占有型)



■特徴① 誰でも参加できるスポーツイベント

特別な道具やルールがないランニングイベントは、参加のしやすいイベントです。

■特徴② 完全封鎖の必要が無いコース

基本的に十分な幅員が確保できれば(5m程度)園路を完全規制せずとも、一般の来園者の導線を確保した上で開催ができます。

※コース設定・参加人数等によります。

■開催条件

- ・1.5km~4km程度の周回コースが占有できること。
- ・幅員が4m以上とれること。
- ・参加者が溜まれるイベント会場(広場等)があること。
- ・参加人数に対して6~7割の駐車台数が確保できること(1000人規模の場合700台分)。

イベントの基本構成 (例)

一般社団法人ウィズスポが主体となり、主な運営業務を担当します。
自治体・地域の団体様等は、共催または協力として御協力・サポートをいただく想定です。

名称

(例) Wiz Spo!! ●●● < <開催地名or公園名等 > ランニングフェスタ

名義

1)自治体が協力・後援等となる場合

【主催】 一般社団法人ウィズスポ
【協力・後援】 ○○市、○○市観光協会 等

2)自治体と弊法人が共同主催となる場合

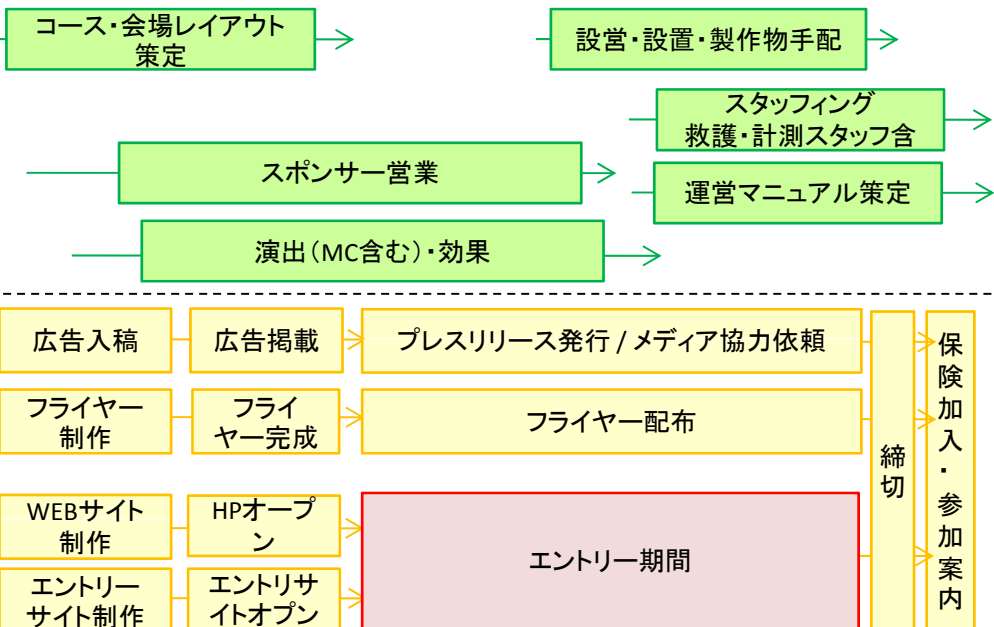
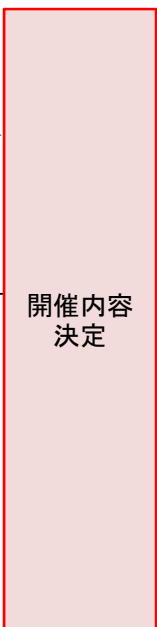
【主催】 一般社団法人ウィズスポ
○○市、○○市観光協会 等

開催までのスケジュール例

イベント設計

告知・集客

9か月前 8か月前 7か月前 6か月前 5か月前 4か月前 3か月前 2か月前 1か月前 当月



開催当日

Wiz Spo!! の目指すもの

■ 目指すもの

参加型スポーツイベントというプラットフォームを用いて、日本社会を善循環に導くこと。イベントを取り巻く全ての人々に、「Happy (幸せ)」をもたらします。

イベント参加者 (スポーツ愛好家)

仲間たちと心から楽しめる場が得られます。



- ・健康志向、予防医学
- ・仲間づくり
- ・生きがい
- ・地域コミュニティ
- ・自然への回帰、エコ志向



開催地

(自治体・施設・地域社会)

開催地域が活性化されます。

- ・観光資源のPRによる経済活性化
- ・スポーツツーリズム
- ・地産地消
- ・既存施設の有効活用
- ・既存の観光資源との相乗効果
- ・地域コミュニティの活性化



企業

スポーツ愛好家との接触機会が得られます。

- ・マーケティング
- ・商品のプロモーション
- ・ダイレクトサンプリング
- ・地域社会との共生
- ・社会貢献活動 (CSR)

Wiz Spo!! 5つのポイント

①「スポーツイベント」に魂を込めて

ウィズスポのスタッフはみな「スポーツ」に育てられた、「スポーツ」に愛のある人間ばかりです。
私たちは、全国各地に地域に密着したスポーツイベントを根付かせていくことに、「魂を込めて」取り組みます。

②「企画」・「運営」のスペシャリスト集団

私たちは「市民参加型スポーツイベント企画運営のスペシャリスト集団」です。自転車ブーム、ランニングブームに乗ってイベントを「企画」する会社や団体は増えてきましたが、現場の泥臭い「運営」までを、自社内できめ細やかに対応できる団体は多くありません。

企画立案・テーマ設定・コース設定・住民の合意形成・道路使用許可申請（警察対応）・広報・参加者対応・事務局・安全管理計画・デザイン制作・競技運営・記録計測・式典運営・人員計画・会場設営・運営マニュアル制作・当日運営全般等、イベントに必要な業務を網羅的かつ効率的に行います。

また、エントリーシステム・WEB制作・映像制作・記録計測等では最新のIT技術やシステムを駆使しつつ、プロデュース全般においては、専属スタッフによる“担当者のかゆいところに手が届く”アナログ的事務局運営を旨としています。

③参加者第一主義

私たちは、全ての業務において常に「参加者第一主義」を思考プロセスの土台において行動します。
それがイベントの成功及び、継続発展、ひいては開催地・協賛企業などへのメリットをもたらすことにつながっていくからです。

④開催地ならではのユニークなイベント設計

私たちは、参加型スポーツイベントを通じた地域の活性化を主眼においており、そのために「当地ならではのユニークなイベント設計」を心がけています。
地域に眠っている観光資源とスポーツイベントを掛け合わせることで、相乗効果を実現しています。

* 事例をご参照ください。

⑤開催地のリスク軽減

イベント開催においては、収支リスク、事故リスクなど様々なリスク要因が存在します。
私たちはあくまでも主催者としてイベントを開催し、開催にともなって生じるリスクを管理し、開催地側のリスクを最小限にとどめます。
また特に競技における安全管理においては万全を期しています。

- <WizSpo!!>シリーズの開催誘致へ興味を持って頂いた自治体等の御担当者の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。
まずはお電話で、地理的条件、開催内容のご要望等ヒアリングさせていただいたうえで、貴地域での具体的な開催プランを御相談させていただきます。条件によっては開催できない場合もありますので予めご了承ください。既存イベントの<WizSpo!!>シリーズへの参加もご相談に応じます。
- <WizSpo!!>シリーズは、弊法人と全国各地の地方自治体・観光協会・学校法人・企業等との共催モデルで、2013年度は年間10-15か所程度での開催を予定しております。
- 大規模な大会開催のためには1年ほどの準備期間を要します。また日程の調整も必要ですので、開催誘致をご希望の場合はお早めにご連絡ください。ご連絡をいただいた順番に対応をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

まずはお気軽にお問い合わせください。

ウィズスポ運営事務局(株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパン)
担当: 中島(なかしま)、袴田(はかまた)、宮(みや)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-23-9 網野ビルB1F

TEL: 03-3478-5566 FAX: 03-3478-3566

Mail: info@wizspo.jp URL: <http://wizspo.jp> ・ <http://roots-sports.jp>

運営サイト<自転車イベント.com>: <http://jiten-sya-event.com>



■ 代表者: 中島 祥元(なかしま よしもと) 略歴

1976年富山県高岡市生まれ。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、スポーツ関連ベンチャーの立ち上げに参加、のちに取締役を務める。2009年2月、株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパンを設立、代表取締役。2012年1月、一般社団法人ウィズスポを設立、代表理事。

これまでにプロデューサーとして、自転車、ランニングを中心とした大小様々なスポーツイベントの立ち上げから企画運営、スポーツによる町おこし支援、スポーツを媒介した企業のマーケティング、公共スポーツ施設の事業開発等のコンサルティング・広報支援等に従事。